

(仮訳)

2008 年 4 月 25 日

ジョイント・フォーラムが「リスク集中」に関するペーパーを公表

ジョイント・フォーラムは本日、「金融コングロマリットにおけるリスク集中の認識と管理に関する業態横断的な調査結果」と題するペーパーを公表した。本ペーパーもまた、昨今の市場混乱に関する金融安定化フォーラム（F S F）の取組みに貢献するため、F S Fに提出されている。

リスク集中に関する本ペーパーは、ジョイント・フォーラムが過去に行なったリスクの統合および合算に関する取組みを基に作成された。本ペーパーでは、グループ内の企業における、またそれらが直面する主要リスクに関する横断的なリスク集中の認識・測定・管理において、金融コングロマリットがどのような進展を遂げたかについて分析されている。また本ペーパーには、2007 年半ばに始まった市場混乱から得られた考察と教訓が含まれている。

ジョイント・フォーラムの議長及び米国通貨監督庁長官であるジョン・C・デューガン（John C. Dugan）氏は、本日、以下のように発言した。「本ペーパーでは、金融機関がリスク集中を認識する際の重要な問題に焦点を当てており、その論点のひとつはストレステストに関するものである。金融機関は、個々の企業ベース及び統合的ストレステストに流動性リスクを織り込むだけでなく、ストレステストのシナリオを策定する際に二次的影響（訳注：ストレス事象の発生に伴う経済・金融環境の悪化によって金融機関に生じる副次的な悪影響）を考慮に入れる必要もある。将来を見据えた場合、潜在的なリスク集中を認識する際に、そうした手法を用いる金融機関は、この一年間に経験したような金融市場の混乱に対し、より良い対応が可能になることであろう。

本ペーパーは、国際決済銀行（BIS）、証券監督者国際機構（IOSCO）および保険監督者国際機構（IAIS）の各ウェブサイト上で閲覧することができる。

ジョイント・フォーラムは、バーゼル銀行監督委員会（BCBS）、IOSCO および IAIS により 1996 年に設立され、金融コングロマリットの監督をはじめ、銀行・証券・保険の各分野に共通する問題に取り組んでいる。